

【森林ボランティア通信】

# モリノワ

2016

Vol.2

～みんなで支える森づくり～

## CONTENTS

- 1 ● 特集 群馬県森林ボランティア支援センター移転オープン
- 5 ● 森林ボランティア団体活動報告
- 11 ● モリノワ peopleインタビュー
- 13 ● インフォメーション

### みなかみ町藤原地区で活動する

### 「森林塾青水(しんりんじゅくせいすい)」の活動の様子

元入会地(いりあいち)や古道の再生・保全と活用など  
様々な地域再生・活性化の活動に取り組んでいます。

下の写真は9月の森林整備の活動風景。「飲水思源」  
(水を飲めば源を思うべし)を合い言葉に爽やかな汗  
を流しています。





# 森林ボランティア支援センター

## 保町「憩の森・森林学習センター」に移転オープン

平成27年4月群馬県森林ボランティア支援センターは、県庁緑化推進課から渋川市伊香保町の「憩の森・森林学習センター」に移転して業務を開始しました。

群馬県の面積は63万6千ヘクタール、このうち森林面積は42万5千ヘクタールで、県土の3分の2を森林が占めており、林野面積、林野率ともに関東一を誇ります。

森林のうち42%がスギやヒノキなどの人工林です。人工林は先人が山に木を植え、大切に守り育ててきた森林です。しかし、外材輸入量の増加や木材価格の低迷から林業が衰退し、適切な管理が行われずに放置された森林や荒廃した森林が増加しています。

また、かつて新炭林や農用林として利用されてきた里山林は、今はほとんど利用されなくなり、低木やササが生い茂り、農業への獣害が問題になっているイノシシ、サル、シカなどの野生動物の餌場や隠れ家などになっています。

森林は豊かな水を育み、災害を防止し、潤いのある環境の形成や、地球温暖化の防止など、私たちの暮らしを支え、多くの恵みをもたらすかけがえのない財産です。

林業の収益性の悪化や、山村の過疎化・高齢化の急激な進展により、林業

関係者や山村地域の住民の努力だけで森林を維持管理することが難しくなっており、社会全体で森林を守っていく必要があります。

### 群馬県における 森林ボランティアの現況

群馬県内では、平成5年に倉本聰氏やC・W・ニコル氏などの著名作家が結成したCCC自然・文化創造工場が、みなかみ町の国有林等で森林整備活動を始めました。平成8年に県及び県緑化推進委員会が森林ボランティア育成事業を始め、この参加者が中心となって平成9年に県内一円で森林整備活動を行うフォレストぐんま21が結成されました。

その後、平成10年に開催された全国植樹祭、平成14年の森林と市民を結ぶ全国の集い、平成22年の全国育樹祭の開催などを通して、県民参加の森林づくりの機運が盛り上がり、県内の森林ボランティア団体は年々増加していきます。



# 群馬県

## 渋川市伊香

そして、平成25年から始まった林野庁の森林・山村多面的機能発揮対策事業、平成26年度から始まった緑の県民税事業の実施により森林ボランティア団体等の活動に対する支援が始まります。

地域の森林を地域住民自らの手で整備する活動が広がり、統計を取り始めた平成21年には49団体、会員数3,867人であった県内の森林ボランティア団体は、平成27年には78団体、5,046人に増加しています。県内で活動する森林ボランティア団体は、主な活動内容として除伐や間伐などの森林整備を実施する団体が57団体で約73%、森林観察会や森林整備体験会等を開催する森林環境教育を実施する団体が21団体、約27%となっています。

森林ボランティア団体の実績



県は森林ボランティア活動への県民の参加促進、森林ボランティア団体や企業による活動の充実のため、平成26年10月に「群馬県森林ボランティア支援センター」を開設しました。

平成27年4月から森林整備作業器具の貸出しや安全講習会の開催など、より県民やボランティア団体等が利用しやすくすることを目的として、渋川市伊香保町の憩の森・森林学習センター内に事務所を移転し、県民が身近な森林整備活動に気軽に参加し、また、森林ボランティア団体や企業がより活発に活動を継続していくためのサポート業務を行っています。

### 森林ボランティア 支援センターの役割

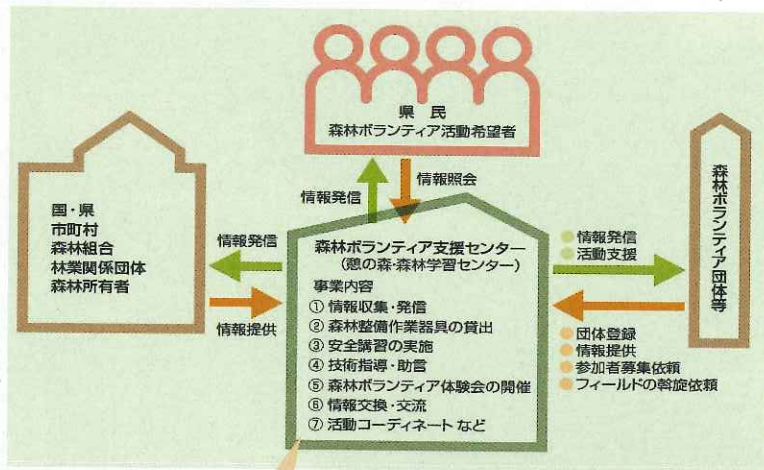
また、地球温暖化対策や生物多様性保全への関心が高まる中、CSR（企業の社会的責任）活動の一環として、企業による森林整備活動も活発になり、県が企業と自らの手では整備できない森林所有者との仲介を行い森林整備を実施する企業参加の森林づくりの協定締結数は平成27年には30団体、協定面積162,06ヘクタールとなっています。



支援センターのホームページ「モリノワ」では県内の森林ボランティア団体等から寄せられた森林整備活動やイベントなどの情報をはじめ、支援センターの実施する森林ボランティア体験会や安全講習会の情報、貸出し用の器具の情報など森林ボランティア活動に必要な様々な情報を掲載しています。

また、月に一度発行するメールマガジンでは、県内で実施予定のボランティア活動等の最新情報をいち早く皆さんにお伝えしています。

貸出し用の森林整備作業器具は、



チェーンソーや刈払機から手鎌や鋸、鉋など、森林整備に必要な各種の器具を取りそろえています。手鎌や鋸、安全に作業を行うためのヘルメットは人数での作業にも対応できるような数を取りそろえていますので、ぜひご活用ください。

チェーンソーや刈払機の貸出しと併



せ、これらの機械を安全に使用するための「安全講習会」、森林ボランティア活動を始めようと思っっている方、森林ボランティア活動に興味のある方を対象にした「森林ボランティア体験会」などを開催しています。

このほか自治会などの地域住民の団



体やグループ、NPOやボランティア団体の要望に応じ、実施する森林整備活動や森林環境教育のイベントなどの内容に合った指導者を紹介・斡旋しています。

伊香保への移転と併せて職員2名体制となり、年末年始を除く年中無休で業務を行っています。今後も森林ボランティア活動に取り組む皆様の要望に応じた一体的なサポートを実施していく予定です。森林ボランティアに関することなら何でも気軽に相談ください。

よろしく  
お願いします

## 群馬県森林ボランティア支援センター 職員紹介



南雲 孝一さん

器具の貸出しやメンテナンス、安全講習会などを担当しています。森林整備器具はメンテナンスが重要です。



木暮みちるさん

主にホームページやメールマガジンの作成などを担当しています。皆さんに新鮮でホットな情報をお伝えしたいと思います。多くの情報お待ちしております。